

警戒レベル
4

避難指示で必ず避難

●問い合わせ
役場防災交通課 防災消防係
☎096(285)5006

大雨や台風など水害や災害が多くなる時期になります。ハザードマップにより自宅周りの危険箇所や避難所、避難経路を確認し、水害・災害に備えましょう。

避難とは、近くの避難所へ避難するだけではありません。「難を避ける」であり、親戚や知人の家などへの避難や安全な自宅に留まることも避難の一つです。

「マイタイムライン」は、あらかじめ一人一人の避難行動をまとめておく「防災行動計画」です。詳しくは「くまもとマイタイムライン」で検索してみてください。

町では防災行政無線やからいも君便り、町公式LINEなどによる情報発信を行っています。緊急時の情報がお手元に届くのでぜひ登録しませんか。

からいもくん便り 大津町公式アカウント
大津町総合情報メール

登録方法: ozutown@gw.ansin-anzen.jp に空メールを送信してください (スマートフォンの場合は件名に任意の1文字「あ」などを入力して送信)。



二次元バーコード

友だち追加の方法
①LINEの友だち追加の画面から「@ozutown」で検索する。
②次のバーコードを読み込む。



二次元バーコード

警戒レベル	新たな避難情報など
5	緊急安全確保
～警戒レベル4までに必ず避難！～	
4	避難指示
3	高齢者などは避難
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	早期注意情報 (気象庁)

※防災無線の情報は次の電話番号で聞き返すことができます。☎096(292)9415

暮らしのお困りごとは「ふくしの相談窓口」で

町では、高齢者支援、障がい者支援、生活困窮、ひきこもりなど、さまざまな福祉に関する相談ができる「ふくしの相談窓口」を開設しています。

相談員が相談内容を聞いて必要な支援を提案し、支援する関係機関へつなぎます。

また、その支援の進捗状況や相談者の生活状況を定期的に確認し、相談者の「困り」「悩み」「課題」の全体が解決するよう、皆さんに寄り添う相談窓口です。

「高齢者と障がいのある家族がいて、収入も少なく困っている」「新型コロナウイルスの影響で仕事がない」などお悩みではありませんか。気軽にご相談ください。



窓口での相談が難しい人は、訪問や電話でも相談を受け付けています。相談室もありますので、プライバシーに配慮した相談も可能です。一人で悩みを抱え込まずにぜひ窓口へ相談してください。



相談支援包括化推進委員
加藤 宏和

●問い合わせ

ふくしの相談窓口 ☎096(293)3122
町地域包括支援センター ☎096(292)0770
町障がい者相談支援センター ☎096(292)0114

認知症高齢者・障がい者等保護情報共有サービス

どこシル伝言板



▲実際に貼るシールの見本

●問い合わせ 町地域包括支援センター ☎096(292)0770

「あのおばあちゃん、どうしたんだろう?」「気になるけど、どうやって声を掛けたら良いのかな?」といった場面に遭遇したことがあるのではないのでしょうか。町では認知症サポーター、高齢者見守りネットワーク協力団体など、地域の見守り力を活用した「どこシル伝言板」の取り組みを始めています。気になる高齢者を見かけた際、洋服などについている二次元コードにスマートフォンをかざすことで家族や介護者の人に情報が伝わり、安全・安心に帰宅することができます。利用手続きなどは、町地域包括支援センターまでお問い合わせください。

勇気を出して声を掛けてみよう～どこシル伝言板をきっかけに～



「あんしん声かけ訓練動画」で、声掛けのきっかけに!



※「キャラバン・メイト」とは、認知症の人の「応援者」である認知症サポーターを養成する講座を担う講師です。

動画はこちら▼



町地域包括支援センターでは、認知症などの高齢者の人が道に迷って困っている場面などで「相手の人にとって安心できる声掛けとは?」をテーマに行方不明高齢者の早期発見・保護を目的とした「あんしん声かけ訓練」を実施しています。コロナ禍により対面訓練が困難とされる中で町内の介護保険事業所に所属する「大津町キャラバン・メイト」、町障がい者相談支援センター相談員と協力し動画を作成しました。動画共有サイトYouTubeで公開中です。自分たちに今なができるのかを考え、子どもから大人まで楽しんで見られる内容です。動画は次の二次元バーコードからも視聴可能です。認知症に関する正しい知識や対応方法、介護する家族の気持ちなどを分かりやすく伝えます。